



発行No:002 発効月:令和4年2月 発行元:人材発掘分科会

～法人内SNS紹介vol.1～

シリーズ企画として紹介していきますので見てみて下さい！是非フォロワーにも♪



【きっかけ】
感染予防のため、令和2年4月から喫茶店を休業。閉鎖的な状況を打破すべく、自主製品や活動、取り組みを多くの人に知ってもらうためInstagramの利用を開始。

【ポイント】
・Instagramを通して、普段見えない施設の取り組みや日常を発信！施設や商品のプロモーションなどに大いに活用。
・ボランティア、ご家族、職員とも幅広い共有の場としていて、様々な視点から”魅せたい”を発信しています。



【きっかけ】
イベント告知以外に、地域向けに活動内容等の取り組みが発信できないか、どのような方法があるかを検討。また時代に合わせた形でInstagramの利用を開始。

【ポイント】
・事業関係なく、『地活』のプレゼンテーションを意識
・現場職員の『これ見せたい！魅せたい！』をダイレクトに発信。
・利用者さんの作品だけでなく、パートさんがこっそり作ったものなども載せてます。
・Instagramをやられていない方向けにしんよこHPIにも同内容をアップ！

内定者の集い

報告

昨年10月に、内定者の集いを行ないました。参加者は、男性4名・女性4名、ご家族3名の11名です。コロナ禍という事もあり、会食等は出来ませんでしたが、マイクロバスでいくつかの事業所をまわり共生会の雰囲気を感じたのではないのでしょうか。1年目の吉原さん(らいず)、2年目の萩田さん(花みずき)より働いてみての実感等もお話いただいております。お二人の手ごたえもなかなかだったようですので双方ともに意味のある時間になったようでした。4月に皆さんに会えるのが楽しみです♪



採用説明会情報

冬にかけて、説明会の来訪者は例年減ってしまいます。今年度も同様の状況です。3月から新4年生の活動が始まりますのでそこに向けて卒業校等へのアプローチ皆さんも可能な範囲でよろしくお祈りします♪

宇治 真理 (うじ まり) さん

海 居宅部門 勤続18年

2003～2018横浜らいずクリーンパート、

その後介護パート登用。

2019～海居宅正規職員登用開始 現在に至る



○横浜らいずの経験は楽しかった思い出ばかり
職員の入退職で働く仲間や環境も少しずつ変わっても、頼れる・信じられる仲間に出会えてきているという宇治さん。

自分でも役に立ててるのかな！？という瞬間を経験しながら自信が付き、2014年に介護福祉士試験を受験。実技試験にも一発合格ができたのは、とある利用者と悩みながらも寄り添い関わり続けた経験があったからだと言います。

○「利用者の秘めた力を、たくさん発揮して欲しい」
らいずパート時代、何もかも手作りの共生まつり神輿かつぎプロジェクトを始動。2年越しでやっと神輿を担ぎ「ワッショイ」と力強く叫ぶ利用者皆さんの真剣な表情が、今でも忘れられないそう。「今は難しいことも多いけど、秘めた思いや力強さをたくさん発揮してほしい」と語る。

○コロナ禍の制限の多い生活、“当たり前の日常”というありがたさ。
コロナ禍で利用者の生活は変わった。外出出来ない、嫌なこと…と不満が募りイライラする利用者も多い。でも“当たり前の日常が当たり前に来る”からこそ“不満は出る”のではと感じる部分もある。自分にもう少し知識があったら…説得したり分かってもらえるような発信をする力があつたら…と悔しい思いをすることもあつたら…と笑いながら、今日も夜勤に行ってきますと足軽に勤務に向かう。

○入職18年の中で、そしてこれから…
3年前、最愛のご主人を闘病の末亡くされ、自身も急激な体調の変化に見舞われた。体力が落ち膝や腰の痛みが出現、日常の介護業務も配慮してもらっていたが、とあることをきっかけに始めた体幹トレーニングのおかげもあり、今はそつなく、むしろたくましくこなす。「歳を取ると、維持することすら簡単には行かないですもん」と笑い飛ばす。
らいず入職当時はよちよち歩きで出会う利用者を慮っていた娘さんも、今では立派な大学生。苦労が少ないはずはないだろうが、夜勤明けでも時間を捻出してジムに通う程、今は大切な習慣になっているそう。

○最後に共生会で働く皆さんと、共有してみたいことを聞いてみました。
「夜勤やローテ勤務は体力維持も大変だろうし、悩みも多いと思うが、1人じゃない、誰かが必ず見ていてくれると信じて、頑張してほしい。」

真っ直ぐに語る宇治さんの言葉が、どこかで誰かの力になると嬉しいなという思いも込めて… 次号もお楽しみに…